

予算等審査特別委員会の総括質疑は市議会ホームページで生中継するほか、録画でも視聴できます。



録画配信はこちら⇒



**問** 南大沢駅前公共空間高質化事業は、8年度で開始から2年目となる。これまでの進捗状況と今後の展開は。

**答** 都や大学、民間企業等で構成するエリアデザイン会議を立ち上げ、議論内容を踏まえた基本計画を策定している。8年度は、計画の実効性を高めるため、人流の調査等を行っていく。会議では、環境に配慮した施設整備への意見があったとのことだが、内容を聞きたい。

南大沢駅前公共空間の高質化を図るため、駅前公共施設の整備を実施する。

**問** 都の「ZEV※1ごみ収集車 実装支援事業」を活用した、ごみ収集業務の試行を行うとのことだが、その内容は。

**答** 水素燃料を使ったZEVごみ収集車の無償貸与を受け、作業性等を検証するもので、収集業務の一部で運行予定である。水素利用の社会実装や、ZEV導入の判断に必要なデータ取得

都の事業を活用し、水素燃料電池ごみ収集車による収集業務の試行を行う。

## 公共空間高質化事業への再生可能エネルギー導入を

**問** 太陽電池※2等の再生可能エネルギー導入を進められないか。

**答** ペロブスカイト太陽電池については、公共施設の屋根や壁面への設置など、地域特性に応じた導入の方向性を見極めていく。本事業で、最先端技術をいかした再生可能エネルギーの導入等、積極的に取り組んでいきたいと考えている。

**問** 既存の構造物に負担を掛けないで、設置可能なフィルム状の次世代太陽光発電設備を屋根面に設置し、その電力を案内誘導サイン等に供給するなどの意見があった。

**答** 本事業で、ペロブスカイト太陽電池等の再生可能エネルギー導入を進められないか。

## 脱炭素社会の実現へ



写真提供：町田市

水素燃料電池で走行でき、ゼロカーボンシティ実現にもつながるZEVごみ収集車

を通じて、脱炭素化を進めることを目標としている。

10月の桑都の杜のオープンに向け、公園・施設の整備を完了するほか、オープンイベント等を行う。

## 新たなランドマークとなる桑都の杜のオープンに向けて



公園やミュージアム、ライブラリ、交流スペースが一体となった桑都の杜

**問** オープン後のイベントの実施は、市民も参加する会議体で検討を進めている。一時的な賑わいの創出で終わらせず、魅力あるイベントを継続するためにも、市内の多くの資源や市民力、地域力をいかして展開していきたい。

**答** 市民も参加する会議体で検討を進めている。一時的な賑わいの創出で終わらせず、魅力あるイベントを継続するためにも、市内の多くの資源や市民力、地域力をいかして展開していきたい。

**問** 施設整備だけでなく、継続的な賑わいと交流を生み出すことが重要であり、施設への愛着を育む上でも市民参画は不可欠と考える。年間を通じた魅力創出への検討は。

**答** オープン後のイベントの実施は、市民も参加する会議体で検討を進めている。一時的な賑わいの創出で終わらせず、魅力あるイベントを継続するためにも、市内の多くの資源や市民力、地域力をいかして展開していきたい。

**問** 本予算の柱となる取り組みの一つとして、市の新たなランドマークとなる桑都の杜を、最大限いかして市内経済を成長・発展させるとあるが、どのように進めるのか。

**答** 市内施設と連携した周遊プログラム等、桑都の杜と豊かな地域資源をつなぎ合わせ、魅力ある取り組みを展開する。これにより地域への愛着とシビックプライドを育み、市内経済への好循環を生み出していく。

※1電気自動車や燃料電池自動車など、走行時に二酸化炭素等の排出ガスを出さない自動車

※2ペロブスカイトという特殊な結晶構造を用いた次世代太陽電池の一種で、薄い・軽い・曲がるなどの特徴がある